

# 「TKB48」を 計画してほしい

答 連携をはかり調査する



伊佐 園恵 議員

**問** 女性にもみんなに優しい防災、避難所は命だけでなく健康と尊厳を守る場所である。

①体の悩みが相談できない

②プライバシー

③安全・性犯罪

④家事を女性が全て行う等、

地域の昔ながらの価値観が能登半島地震で課題になった。

災害が起きる前に問題の予防策を考える事前設計が必要と考える、本町ではそれらの対策にどのような準備がされているか。

**総務課長** 避難所マニュアルを作成中である。

避難所レイアウトやプライバシーの確保等、分かりやすく示せるよう調査研究し対策について考慮していく。

**問** ①～④の4点は、「R6年度能登半島地震での女性の経験」と思いに関するヒアリング調査」である。前向きな調査研究ということでしょうか。

避難所の環境はTKB48(h)



みんなで減災（内閣府HPより）

## ITイタリアの事例

T = トイレ、シャワー（衛生）

K = キッチン、食堂（栄養）

B = ベッド、生活空間（睡眠）

**総務課長** 議員提案についても前向きに調査研究し、可能な限り反映できるよう務める。

**問** イタリアの仕組みをモデルに「TKB48」48時間以内にトイレ、キッチンカー、ベッドの設置できるように計画してほしいがどうか。

**総務課長** 災害時にはトイレ等の整備が重要であることから、民間事業者と災害協定を締結し、トイレの設置されたコンテナハウスや移動式木造

施設等を提供できるように連携を図っている。

議員提案のキッチンカー等の内容についても調査している。

**問** 男性でもいろいろな方がいるように、女性でもいろいろな方がいるということを知ってほしいからである。

また、女性は、育児や介護の経験が身近である方が多いのではないかと考えるので、女性の視点を取り入れてほしいと考える。

要するに、女性が発言しやすい雰囲気ができるか、つくれるかが重要と考えている。R8年度新設の防災対策班の人数と男女比はどうなっているか。  
**総務課長** 新設の防災対策班は男性2人である。

- ・ 一こんな質問もしました
- ・ 子どもの権利の周知を
- ・ 学校施設について